

平成 30 年 2 月 10 日開催の政策討論会における意見等 テーマ：学校施設の整備（エアコンなど）について

意見等の概要	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入間市では公共施設マネジメントを進めていて、平成30年度から計画を進める予定であったが1年繰り延べされている。これには学区と自治会、地域の成り立ちなどの多くの課題が複雑に絡んでいる。 ・ 所沢市として、これまでのこと（高齢者の意見）を考えて進めるのか。これからのこと（子ども・若者の未来）を考えるのか。 ・ 安全安心が優先されるべき。+αとしてトイレ、エアコン、木質化があると思う。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンの付け方についてしっかり考えていく必要があると思った。コストの関係もあるし、素早い設置が大切なのでリース方式に納得した。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度予算にエアコン設置に係る調査費を計上するとのことだが、藤本市長のことだから、エアコン設置へはまだ紆余曲折があるのではないかと。ぜひ市議会一丸となって、早急に全校設置を実現してほしい。もちろん、費用などさまざまな観点からの検討も必要である。 ・ 学校施設の整備については、現場の教職員の声をよく聴いて進めてもらいたい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校で1日の大半を過ごす児童の生活環境改善を優先すべきで、空調（エアコン）整備とトイレ（洋式化）整備を、建物の改修工事と並行して行う必要がある。木質化については順位が後であり、見直すべきである。 ・ 税収増策（人口増、流出防止等）も大事だと考える。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木質化等は必要なく、エアコン設備で十分である。（所沢市内の小中学校全校に設置すべき）
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域人口の維持流入を図るためには、学校環境が改善されなければ所沢市には競争力が無いと思う。 ・ 公共施設マネジメントを進めるため、市民参加を早めるべきである。

7	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの議員が言ったことはわかるが、最近の暑さは以前とは違う。財政面も考えなければならないのは当たり前だが、エアコンは子どもたちの命に関わっているという思いが少々足りないようにも思う。昨年度まで市内の小学校で勤務していたが、皆さんが思っている以上に暑いと思う。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も木質化を進めるのか。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の問題は、単に効率化財政の観点からだけでは不十分である。夏の暑さは児童の学習環境についての基本的な問題であり、ぜひエアコンを早期に設置していただきたい。 ・地域コミュニティとの関連で、住民を巻きこんでの方向付けが必要だと思う。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの拠点としての学校なのであれば、住民投票からの3年間、地域に説明したり地域の人たちと考えるという取り組みをしようとした議員はいたのか。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・議員に伺いたい。全ての教室にエアコンを設置するというが、現状の予算でも2倍近くかかる予想なのに費用はどうやって捻出するのか。また他の施設とのバランスはどう考えるのか。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・私は清進小、所沢中出身だが、所沢中に入学する前年に新校舎（1フロアあたり2クラスで8クラス分）が増設されたが、入学した時、エアコンのないクラスになり違和感があった。2年、3年では新校舎のクラスに入ったが、エアコンの使用を禁止されていた思い出がある。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・防音校舎へのエアコン設置費用について、防衛省からの補助金を受けることに疑問（問題）を提した市長は、結果的に国庫に戻ってしまった。PFIでは文科省補助を受けることになるので、市長は同様に考えるのではないか。 ・学校施設をもっと市民に開放してはどうか。遠い公民館より近くの学校が使われることで、子どもは地域の宝という意識が高まる。孫

	<p>の小学校（茨城県牛久市）では、温水プールを市民に開放している。</p>
14	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢市在住の学生だが、今回は議員と縁があり参加させていただいた。私は教育分野を学んでいるわけではないが、気になった点が2点あった。1点目は平成19年度の市長のエアコン導入方針の変更で、私自身福島県出身ということもあり、原発が影響していることに思うものがあった。2点目は廣瀬先生の講演で、私は行政に関する知識は全くないが、先生の話はわかりやすく、感動した。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設について、公共施設マネジメント白書による現状分析や、公共施設等総合管理計画における基本的な方針はわかったが、それを具体化した実行計画はいつ策定するのか。またそれが今まで進まない理由は何かを明らかにしてほしい。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜか所沢市議会の議員はエアコンのことばかりはやし立てるが、もっと学校トイレの改修について早急かつ大々的に進めていくべきだと思う。学校トイレのほうが市民の切なる願いであり、よろしく願いたい。 ・エアコンを付けることになりましたと自慢している議員に違和感を感じた。 ・部屋が暑すぎる。もっとエネルギーに配慮してほしい。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・市の財政は限られている。優先すべきことは何か、学校施設に限らず幅広い議論が必要ではないか。少子化による学校施設のあり方（改修・建替・集約化・複合化等）も議論されるといいと思う。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・学校統廃合計画を相当事前から明示し、住民移動のシグナルになるよう配慮し、納得してから住むように誘導するといいと思う。 ・学校統廃合は不可避と考えるが、特定の地域の議員が不利にならないよう配慮した広報、廃止規準の客観・公平化、被統合校の文化的伝統のケアへの配慮などが必要である。 ・統廃合後の学校について、佐野市の事例がよいと思う。他の地域との比較も含め、よくなるということを周知する必要がある。 ・学童の対震、給食、トイレなどの支出項目をすべて市民に教えてほしい。エアコンがクローズアップされているが、機械的に平等化を進めることに懸念がある。転用可能教室は当面不用だと思ふ。各校にフルスペック施設は困難。 ・学校や高齢者福祉に施策が偏っている。勤労納税者のケアを重点化してほしい。

19	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン等の整備を進めることについて否定はしないが、子どもの数が減少していて、地域によってもそのばらつきがあることを踏まえ、統廃合とセットで検討してもらいたい。
20	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少を見据えて、学校の統廃合を真剣に検討していただきたい。また、廃校になる施設の有効利用が不可欠である。
21	<ul style="list-style-type: none"> ・全国各地で毎年熱中症が問題になっている。これからの日本を担う若い力のためにも、エアコン整備は早急にしていくべきだと思う。
22	<ul style="list-style-type: none"> ・住民投票の投票率が低いとの話があったが、東側の学校が対象に入っていないので仕方がないと思う。 ・今の市長の考えは、住民投票の結果を曲解したものを盾にしていると思う。(議員が動議の説明をされた際、一定数に行かずとも悪い方向に進めない旨の話があった) ・生徒のことだけでなく、避難所になった時のことを考えるべきである。
23	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンを設置する方向になってよかった。 ・学校の統廃合の優先順位については、小学校、中学校、高校を地域の拠点としてさらに拡大し、地域コミュニティの核となるよう極力市民が回していけるように考えていく必要がある。どうしても人数が足りなくなる時はスクールバスを利用するという意見については、一利あると思う。
24	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に利用が求められた若松小の2教室の利用状況が聞きたい。
25	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設と福祉施設の共存が大事であると思う。

26	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進んでいるため、全ての学校をメンテナンスしなければいけないのか、また冷暖房を設置しなければいけないのかわからなくなった。
27	<ul style="list-style-type: none"> ・転用可能教室の有効活用について、現在、児童クラブの大規模化が問題となっているため、学校を活用して放課後の子どもたちのための環境を作ってほしい。
28	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が減少する将来的な見通しのもと、教室の必要数を考えなければいけない。 ・防音校舎のエアコンは必要だが、他は不用だと思う。 ・人口減に伴う予算編成をすべきである。
29	<ul style="list-style-type: none"> ・余裕教室の利用や校庭の広さについて、放課後児童クラブ、放課後子供教室の利用についての方針、校庭の適正な広さについてどのように考えたらよいか政策を講じてほしい。
30	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の複合化、集合化がこれからの課題だとのんきなことを言っているが、喫緊の課題だと思う。これからどうするつもりなのか。
31	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンにしても他の施設整備にしても、全校に同時期に導入するのが基本であるが、順番を付けるにしても3年が限度だと思う。どう進めるかは、それぞれのやり方を比較して行う必要がある。 ・公共施設そのもの、またその中にある施設、備品等の統廃合は避けて通れないので、大胆に市民に問題提起する必要がある。
32	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢市のエアコン問題を契機として、近隣市ではほとんどが小中学校にエアコンを整備した。所沢市もエアコン問題にこだわらず、小中学校にエアコンを整備する時代が変わったと思う。エアコンを整備する方針を決定してほしい。
33	<ul style="list-style-type: none"> ・11年前、当時小学校低学年で明峰小学校に通っていたが、エアコンがなく、とても暑かった記憶が残っているので付けてもらいたい

	<p>と思う。中学からは私立に通ったが、その学校にはエアコンが設置されていて授業中も涼しく、快適に授業を受けることができた記憶がある。エアコンがなかったら、熱中症で倒れる学生も出ると思う。</p>
34	<p>・ 廣瀬先生の話の中で、平成24年1月に藤本市長が狭山ヶ丘中のエアコン設置予算を削除したことに対し、議会には予算編成権がないため予算に組み込むことができなかったという説明があった。では二元代表制の一方である議会としての権限は何なのか。チェック&バランスといった二元代表制の意味をあいまいにした表現ではなく、市長に対抗する明確な権限を教えてください。討論会を聞いていても、議会は何もできなかったと思った。</p>